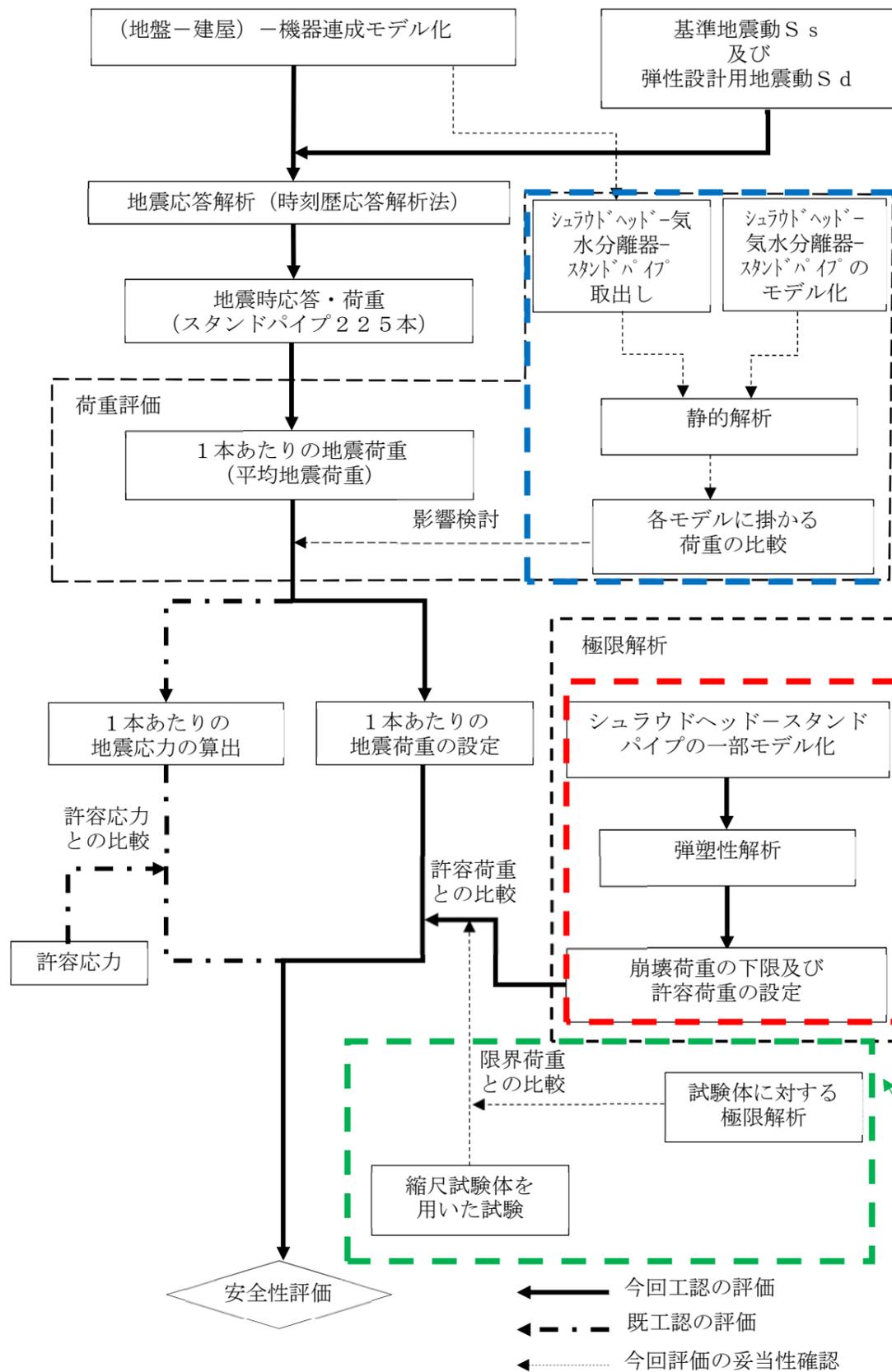
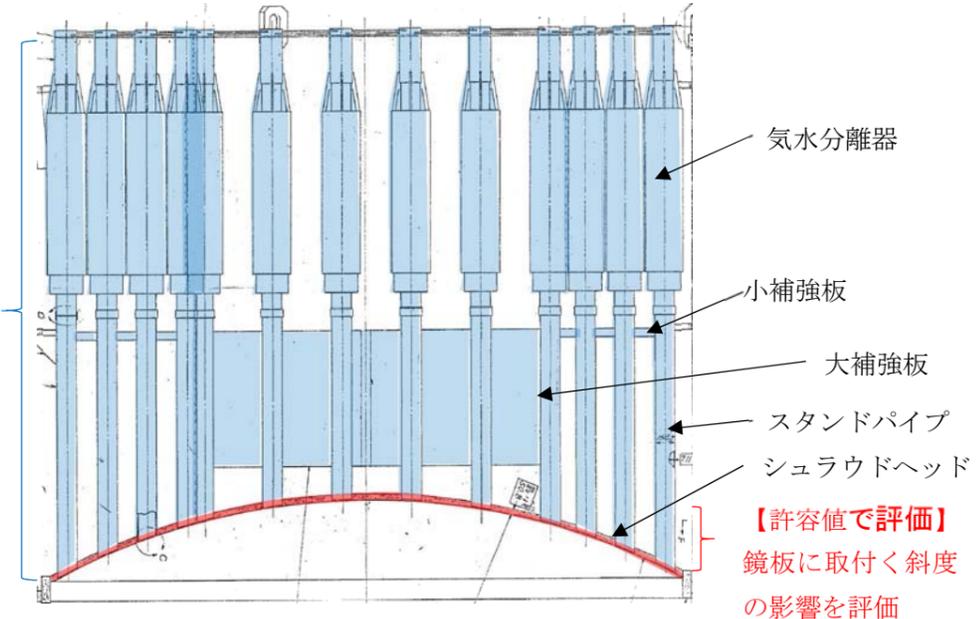


## 設置許可からの申し送り事項と対応に関する整理 (スタンドパイプ)



コメント N08~12 【構造の差異を踏まえた代表性及び荷重評価】  
 本資料 5.1 詳細モデルによる影響評価にてご説明  
 【概要】  
 ・長さの違い、補強板の影響を考慮した詳細にモデル化したものと建屋機器連成解析の当該部の多質点モデルを静解析による応答解析を実施し、1本のスタンドパイプ付根部に掛かる荷重(モーメント)が現状評価に用いている平均地震荷重の方が詳細モデルで得られる荷重を上回ることをご説明。



【発生値で評価】  
 補強板、スタンドパイプの長さの違い等による荷重影響を評価

コメント N08 【溶接部の斜度の影響】 本資料 3.2 極限解析による評価にてご説明  
 【概要】  
 ・シュラウドヘッドに対して平面に取付く中央部と同様に斜めに取付くモデルにて極限解析を実施し、斜めに取付く影響がないことをご説明。  
 コメント N014 【モデル長さの影響】 本資料 3.2 極限解析による評価にてご説明  
 【概要】  
 ・現状評価に用いているモデル長さ 1000mm を 1500mm に変化させて、同様に極限解析を実施し、崩壊荷重の下限値への影響がないことをご説明。  
 コメント N015 【コンタ図】 本資料 3.2 極限解析による評価にてご説明  
 【概要】  
 ・解析結果で得られた最大応力、最大ひずみについてご説明。

コメント N013 【試験体に対する極限解析】 本資料 別紙-1 にてご説明  
 【概要】  
 ・実機に適用する極限解析と同様に、試験に用いた試験体に対して極限解析を実施し、試験結果と比較して、解析の方が保守性を有していることをご説明。